

2024年2月9日

農林中央金庫

食農ファンド「Seviora T3F Feeder Fund LP」への出資契約締結ならびに Seviora Holdings との戦略的パートナーシップの締結について

～Temasek 子会社の Seviora Holdings との戦略的パートナーシップ締結を通じた
日本企業との事業連携促進・食農バリューチェーン強化の取組み～



農林中央金庫（以下「当金庫」）は、このたび、シンガポールの政府系ファンド、Temasek（テマセク）傘下の運用会社である Seviora Capital Pte Ltd（セヴィオラ・キャピタル、本社：シンガポール、以下「Seviora Capital」）が新たに組成する投資ファンド「Seviora T3F Feeder Fund LP」（セヴィオラ・ティースリーエフ・フィーダー・ファンド、以下「当ファンド」）と出資契約を締結しました。T3Fとは「The Future of Food and Farming」の略称であり、当ファンドはアジア・太平洋地域における食農分野のスタートアップ企業を投資対象としております。

また同時に、Seviora Capital の持株会社である Seviora Holdings Pte Ltd（セヴィオラ・ホールディングス、本社：シンガポール、以下「Seviora Holdings」）と当金庫は食農分野における双方の知見活用、投資先の食農スタートアップ企業の成長支援等を目的とし、今般、戦略的パートナーシップ（MOU）を締結しました。

Seviora Holdings を含む Temasek グループは食農分野においても長い投資経験を有しておりますが、当金庫は今回の戦略的パートナーシップを通じて、相互の知見共有、ビジネス機会の捕捉、日本とアジア・太平洋地域の食農関連企業の連携促進等の取組みを強化してまいります。

当金庫は当ファンドへの出資を通じ、アジア・太平洋地域における食農分野の知見を深めるとともに、本邦食農関連企業との協業、共同投資機会の創出を一層推進してまいります。成長著しいアジア・太平洋地域の先進的なアグテック・フードテックのノウハウを日本へ還元することや、投資先企業のプラットフォームを活用することにより、我が国の農林水産業や食品産業等の海外展開、持続的な成長に寄与することを目指します。

また、本件パートナーシップを通じて、温室効果ガスの削減など、農林水産業を取り巻く気候変動への対応や生産性の向上等の環境・社会課題についても、Seviora Holdings や投資先企業との継続的な対話・連携を行い、「農林水産業と食と地域の暮らしを支えるリーディングバンク」として業界の課題解決に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 コーポレートデザイン部 広報コミュニケーション班（宮澤、水元）TEL：03-6362-7172